

高校世界史プリント（過去問類似）

二つの世界大戦 No.10

名前

得点

/10

問1 1914年にヨーロッパで勃発した大規模な国際紛争において、日本が協商（連合）国側として参戦し、東アジアや太平洋地域のドイツ領を攻略する際の大義名分とした、1902年に締結された外交協定は何か。（2015年 全国公立入試 類似）

1. 日英同盟 2. 日韓協約 3. 日露協約 4. 日仏協約

問2 第一次世界大戦後、ワフド党を中心に強力な反英民族運動が展開され、1922年にイギリスから名目上の独立を認められた北アフリカの国はどこか。（2004年 全国公立入試 類似）

1. エジプト 2. イラク 3. ベトナム 4. モロッコ

問3 第二次世界大戦期、ナチス政権下のドイツは極端な人種主義に基づき、占領下のヨーロッパ各地で特定の民族やマイノリティに対する組織的な強制収容や大量虐殺を行った。この迫害政策によって、移動型民族であるロマや、数百万人にのぼるユダヤ人らが犠牲となった。この一連の組織的的大量虐殺や迫害政策を何と呼ぶか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. ホロコースト 2. ポグロム 3. ゲルニカ 4. カティン

問4 日本統治下の京城（ソウル）では、1930年代半ばになると清溪川の南側に日本語の地名がつけられ、日本の百貨店が進出するなど日本人住民の居住地としての開発が進んだ。この時期より前の1919年に、ソウルのパゴダ公園での独立宣言書の朗読を契機として、朝鮮半島全土に広がった大規模な抗日民族独立運動を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 三・一独立運動 2. 一・二・九運動 3. 五・三〇運動 4. 五・四運動

問5 1920年代の中国では、第一次国共合作の成立を背景に、民族運動が急速に高揚した。1925年、ある都市の在華紡（日本資本の紡績工場）での労働争議に端を発し、イギリス租界の警察による発砲事件を契機として、学生や労働者、市民による大規模なゼネストや抗議行動へと発展した、中国全土に広がった反帝愛国運動を何というか。（2019年 全国公立入試 類似）

1. 四・一二政変 2. 五・三〇事件 3. 五・四運動 4. 西安事件

問6 1917年、首都ペトログラードでの食料不足を契機とするデモやストライキから発展し、ロマノフ朝の帝政を崩壊させ、その後臨時政府とソヴィエトの二重権力状態を生み出す契機となった歴史的出来事は何か。（2009年 全国公立入試 類似）

1. 二月革命 2. 十月宣言 3. 十月革命 4. 七月暴動

問7 1930年代のドイツにおいて、ゲシュタポと呼ばれる秘密国家警察などを利用して国民生活を厳しく監視・統制し、言論の自由を奪う一党独裁体制を敷いた政党の通称を何というか。（2021年 全国公立入試 類似）

1. ファシスト 2. メンシェヴィキ 3. ナチス 4. ポリシェヴィキ

問8 1930年代半ば、イタリアのファシズム政権は、国際連盟による経済制裁を無視して、東アフリカに位置する独立国への軍事行動を強行した。この出来事を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. エチオピア侵略 2. ノモンハン事件 3. アルバニア併合 4. ポーランド侵攻

問9 第一次世界大戦の敗戦に伴う革命によって帝政が崩壊したドイツでは、1919年に国民議会が招集され、主権在民や生存権（社会権）の保障を盛り込んだ、当時最も民主的とされる憲法が制定された。この憲法の名称として正しいものを答えよ。（2012年 全国公立入試 類似）

1. プロイセン憲法 2. ジャコバン憲法 3. ヴァイマル憲法 4. ビスマルク憲法

問10 第一次世界大戦後にロシア帝国から独立したものの、第二次世界大戦中の1940年にソ連によって強制的に併合され、1991年のソ連解体期にいち早く独立を回復したエストニア、ラトヴィア、リトアニアの総称として正しいものは何か。（2017年 全国公立入試 類似）

1. バルカン諸国 2. ベネルクス三国 3. カフカス諸国 4. バルト三国

答え合わせ・解説 No.10

| | | |
|-----|-------------------------------|--|
| 問1 | 答え 1 日英同盟 | 1914年に第一次世界大戦が勃発すると、日本は1902年に締結された日英同盟の情誼を口実に、イギリス側の協商国として参戦した。これにより、日本はドイツの拠点であった中国の山東半島や南洋諸島を攻略し、東アジアにおける権益を拡大させた。 |
| 問2 | 答え 1 エジプト | 第一次世界大戦においてイギリスの保護国とされていた地域では、大戦後にワフド党（代表党）を中心とする激しい独立運動が起こった。イギリスは1922年に保護権を廃止して独立を認めたものの、スエズ運河地帯への駐兵権や外交権などを保持し続けたため、実質的な支配は継続した。完全な独立とイギリス軍の撤退を求める運動はその後も継続することとなる。 |
| 問3 | 答え 1 ホロコースト | ナチス・ドイツは、アーリア人の優位性を主張する人種主義に基づき、ユダヤ人やロマ、障害者などを組織的に迫害・虐殺した。アウシュヴィッツをはじめとする強制収容所が各地に建設され、組織的な大量虐殺が実行された。これは単なる戦争の犠牲ではなく、国家権力による計画的かつ組織的な人道に対する罪であった。 |
| 問4 | 答え 1 三・一独立運動 | 1919年3月1日、ソウルのパゴダ公園で独立宣言が読み上げられたことを契機に、朝鮮半島全土で「独立万歳」を叫ぶ非暴力的抗日民族運動が広がった。これが三・一独立運動（三・一運動）である。日本政府はこの運動を武力で鎮圧したが、その後の統治方針を「武断政治」から「文化政治」へと転換せざるを得なくなった。1930年代半ばの京城における都市構造の変容は、こうした歴史的経緯の後に生じたものである。 |
| 問5 | 答え 2 五・三〇事件 | 1925年5月、上海の在華紡績工場における労働争議で中国人労働者が射殺されたことを契機に、抗議する学生や市民に対してイギリス租界の警察が発砲し、多数の死傷者が出た。これに対して上海の労働者や学生、商人がゼネストなどで抗議し、運動は中国全土に広がる反帝愛国運動へと発展した。この出来事は、その後の国民革命の進展に大きな影響を与えた。 |
| 問6 | 答え 1 二月革命 | 1917年（ロシア暦2月）にペトログラードで発生した暴動を契機にニコライ2世が退位し、ロマノフ朝の帝政が崩壊した。この事件により、ブルジョワジー主導の臨時政府と、労働者・兵士によるソヴィエトが並立する「二重権力」の状態が形成された。 |
| 問7 | 答え 3 ナチス | 1933年に政権を獲得した国民社会主義ドイツ労働者党（ナチス）は、ヒトラーのもとで一党独裁体制を確立した。この体制下では、秘密国家警察であるゲシュタポなどが国民生活を厳しく監視・統制し、言論の自由を剥奪してファシズム支配を徹底した。 |
| 問8 | 答え 1 エチオピア侵略 | 1935年、イタリアのムッソリーニ政権は領土拡張を目指して東アフリカの独立国エチオピアへ侵攻した。国際連盟はイタリアを侵略国として経済制裁を科したが、石油などの重要物資が除外されたことや、非加盟国であるアメリカ合衆国との取引が継続したため、実効性を欠いた。この出来事は、1980年代半ばにエチオピアで発生した大規模な飢饉の時期とは異なる歴史的イベントである。 |
| 問9 | 答え 3 ヴァイマル憲法 | 第一次世界大戦後のドイツでは、ドイツ革命によって帝政が崩壊し、共和国が成立した。1919年にヴァイマルで開かれた国民議会において、主権在民、男女平等の普通選挙権、そして世界で初めて生存権（社会権）を規定した、当時最も民主的とされる憲法が制定された。 |
| 問10 | 答え 4 バルト三国 | エストニア、ラトヴィア、リトアニアの3国は、1939年の独ソ不可侵条約の秘密議定書に基づき、1940年にソ連に強制併合された。その後、1991年のソ連解体期に独立を回復した。 |